

第2次 御前崎市道路整備計画
2017 ▶ 2028

詳細版



平成29年3月

御前崎市

* * 目 次 * *

■第2次御前崎市道路整備計画策定の目的

I. 道路を取り巻く現状と今後の動向等の把握	1
1 現状把握	1
2 今後の動向等の把握	5 0
II. 第1次道路整備計画の検証	6 2
1 第1次道路整備計画の整備進捗状況の評価	6 2
2 第1次道路整備計画対象路線の交通需給面の評価	6 6
III. 地域整備方針及び道路整備方針	6 8
1 地域整備上・道路整備上の課題の整理	6 8
2 地域整備方針・道路整備方針の検討	8 1
IV. 道路整備計画の策定	9 2
1 将来道路網計画の作成	9 2
2 道路整備計画の策定	9 8
3 道路整備計画の評価	1 1 5
V. 整備プログラムの策定	1 2 6
VI. 今後の取組み	1 3 6

■資料編

第 2 次御前崎市道路整備計画策定の目的

御前崎市では、平成 16 年 4 月の旧浜岡町・旧御前崎町の合併や、平成 21 年 6 月の富士山静岡空港の開港など、地域を取り巻く諸情勢を勘案し、平成 19 年 3 月に第 1 次の道路整備計画を策定した。

今般、第 1 次計画期間の最終年度を迎え、第 1 次計画策定後の社会・経済情勢の変化を踏まえつつ、第 2 次の道路整備計画策定委員会において次期道路整備計画に向けた検討を通じて、計画策定を行うことを目的とする。

特に、平成 23 年（2011 年）3 月 11 日に発生した東日本大震災により、津波災害、原子力災害など防災への対応性を強く認識される契機となった。そのため、道路整備においても防災の観点からの検討の必要性が高まっている。

また、今後の人口減少・高齢社会への対応、地域経済の活性化、地球環境への対応など、道路に課せられた課題は多岐にわたる。

このような諸状況を勘案し、第 2 次道路整備計画の策定を行うものとする。

I. 道路を取り巻く現状と今後の動向等の把握

1 現状把握

1. 社会・経済状況

1-1 人口及び高齢化の状況

(1) 人口・世帯数の推移

○近年、御前崎市の人口は減少傾向にあるが、その一方で、世帯数は増加を続け、1世帯当たり人員は低下している。

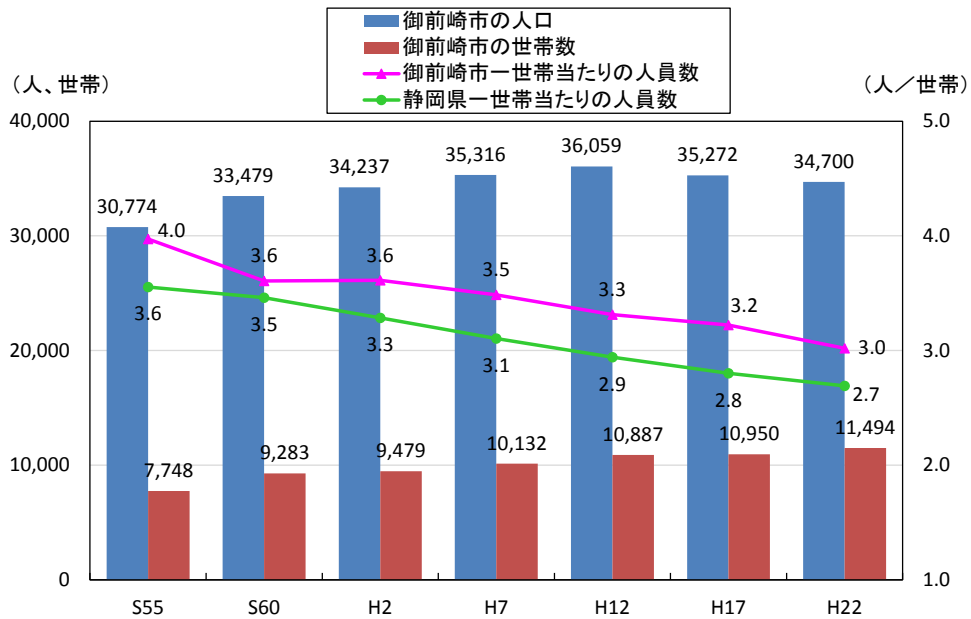
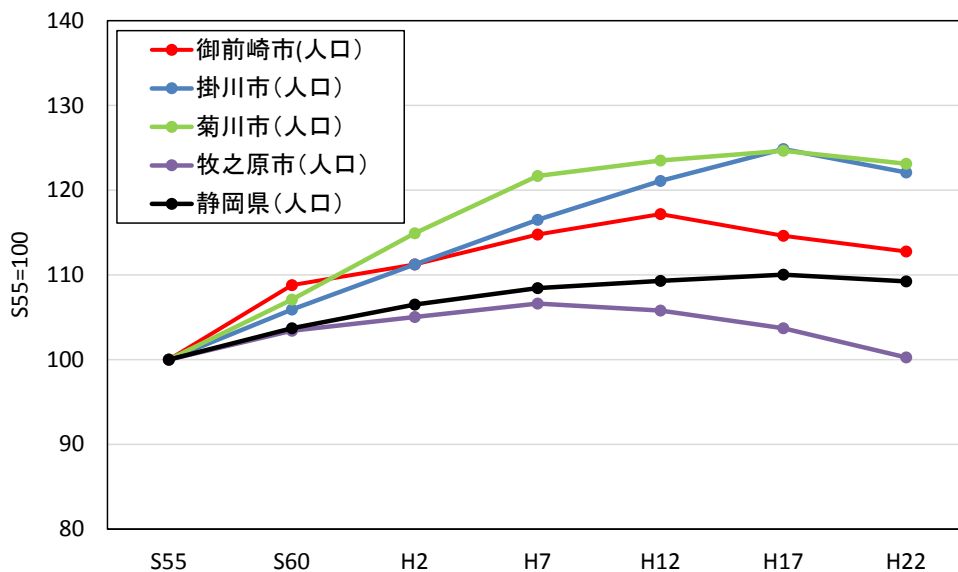


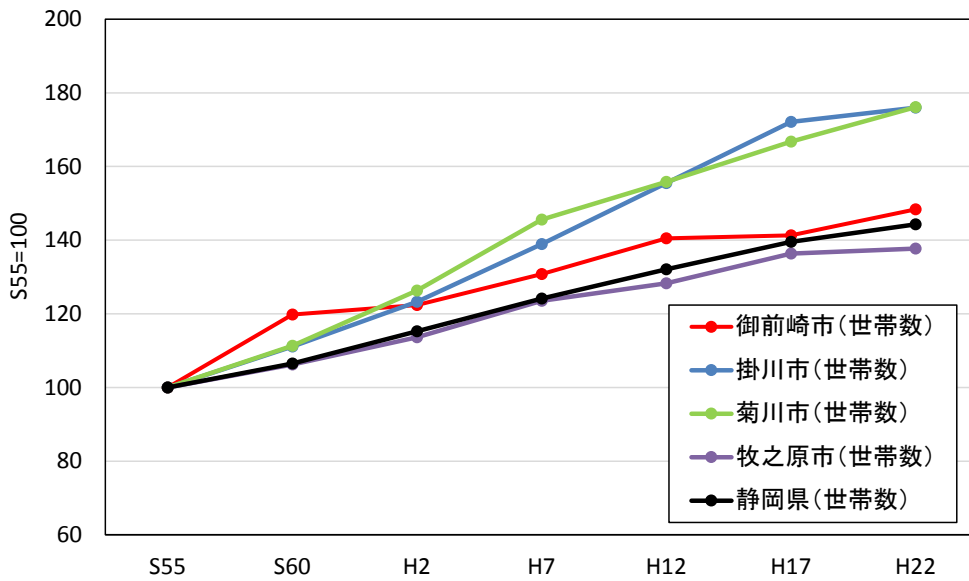
図 I-1 御前崎市の人口と世帯数

資料) 国勢調査



資料) 国勢調査

図 I-2 人口の推移 (昭和 55 年を 100 とした場合)



資料) 国勢調査

図 I-3 世帯数の推移 (昭和 55 年を 100 とした場合)

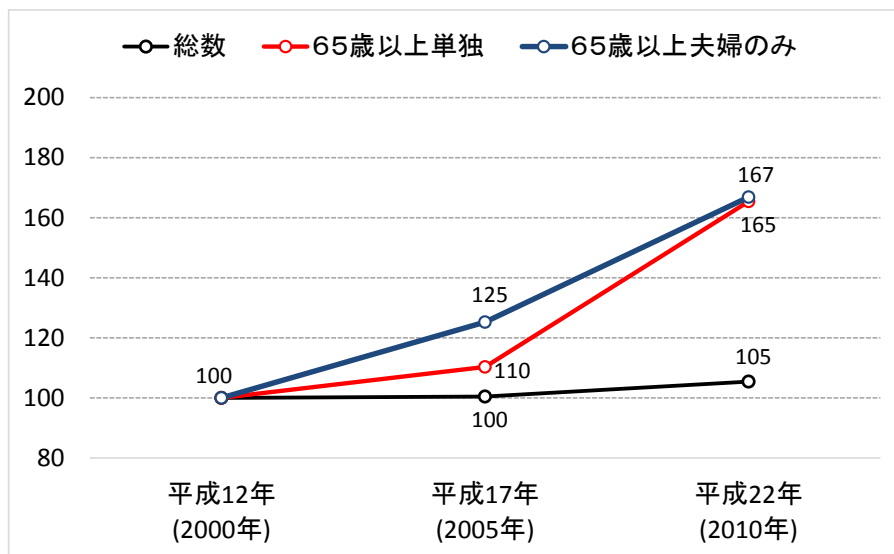


図 I-4 御前崎市の世帯数の推移 (2000(平成 12)年を 100 とした場合)

表 I-1 御前崎市の世帯数の推移

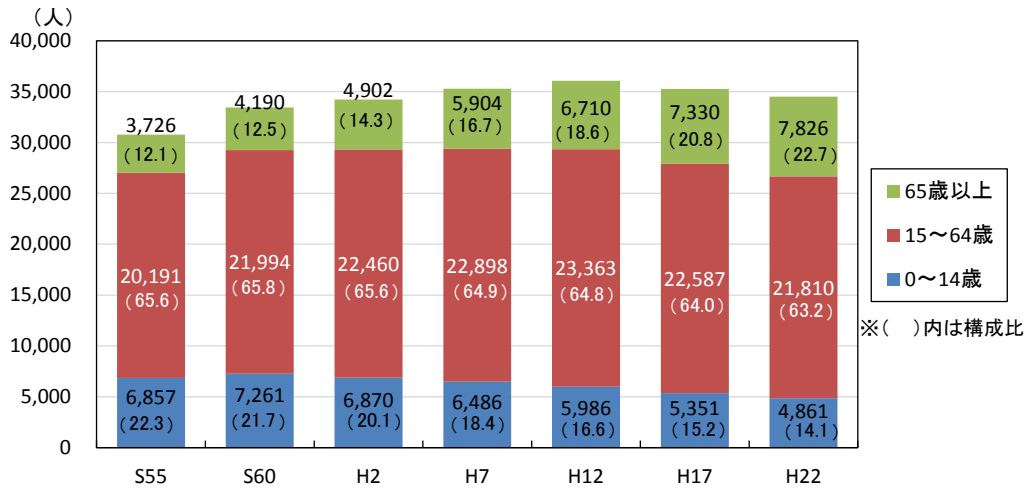
一般世帯数	平成12年 (2000年)	平成17年 (2005年)	平成22年 (2010年)
総数	10,885	10,936	11,479
65歳以上単独	330	364	546
65歳以上夫婦のみ	499	625	833

注) 65歳以上夫婦のみ世帯とは、世帯主の年齢が65歳以上の場合である。

資料) 国勢調査

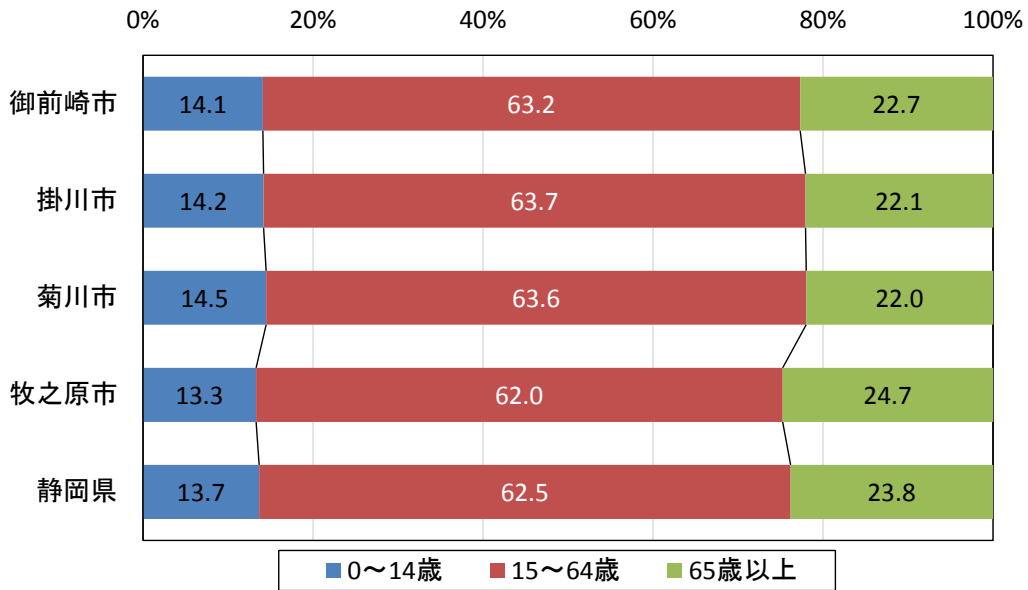
(2) 年齢別人口の推移

○御前崎市では、総人口が減少する一方で、65歳以上人口は増加し、構成比も上昇している。
 ○御前崎市の各年齢層の構成比は、県全体や周辺市とほぼ同じ程度である。



資料) 国勢調査

図 I-5 御前崎市の年齢3区分人口推移

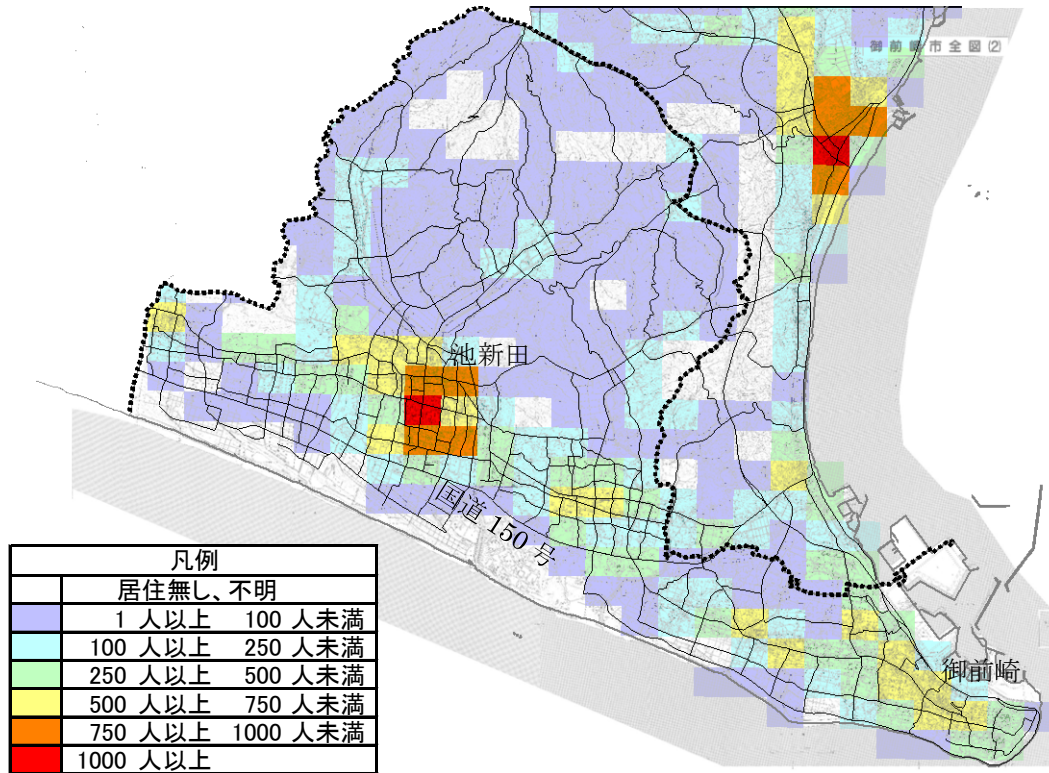


資料) 国勢調査

図 I-6 隣接市の年齢3区分人口の構成比 (平成22年)

(3) 地域別人口

○御前崎市中心部の池新田地区に人口が集中しているほか、国道150号沿線の北側や御前崎地区に人口の集積が見られる。

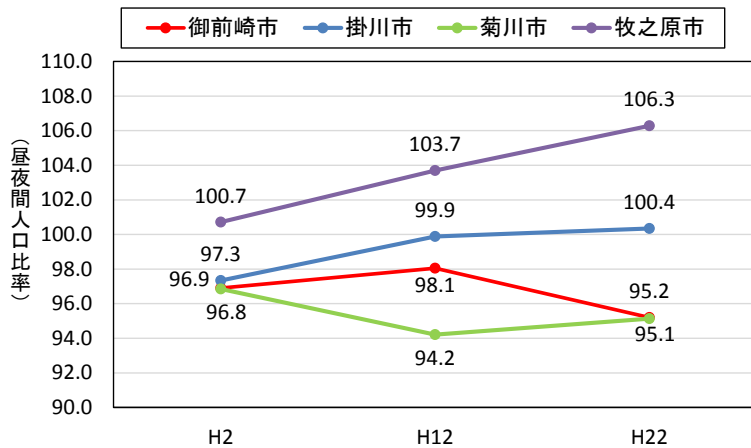


資料) 平成22年国勢調査(地域メッシュ統計500m)
注) 500mメッシュで1000人の場合は4000人/km²に相当する。

図 I-7 地域メッシュ別人口(夜間人口(平成22年))

1-2 昼夜間人口

○御前崎市の昼夜間人口比率は、平成22年で95.2と平成12年に比べて低下しており、通勤・通学で市外へ流出している人のほうが多い。



注) 昼夜間人口比率 = 昼間人口 ÷ 夜間人口

単位: 比率

	平成2年	平成12年	平成22年
御前崎市	96.9	98.1	95.2
掛川市	97.3	99.9	100.4
菊川市	96.8	94.2	95.1
牧之原市	100.7	103.7	106.3

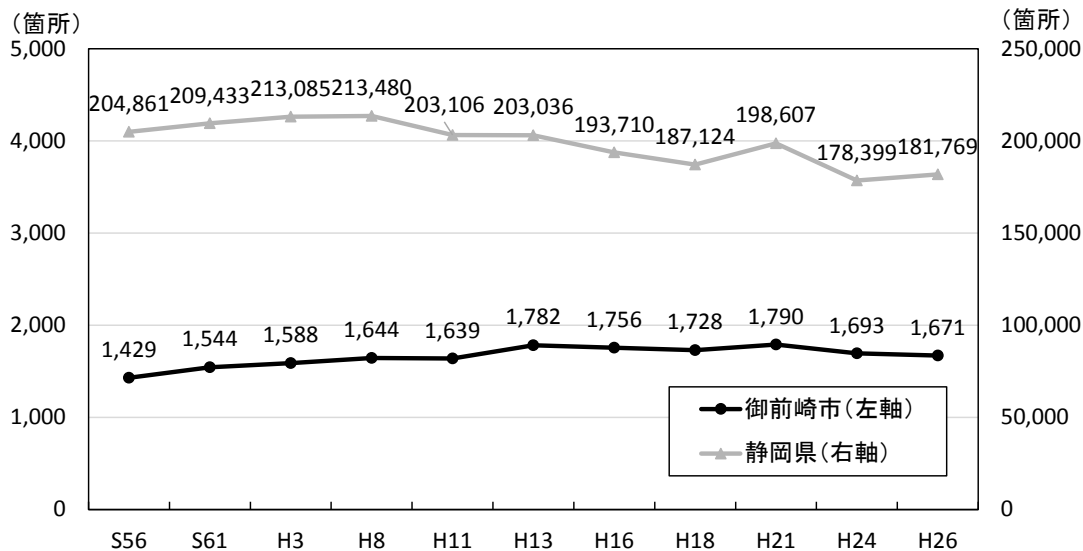
資料) 国勢調査

図 I-8 昼夜間人口比率の推移

1-3 産業の動向

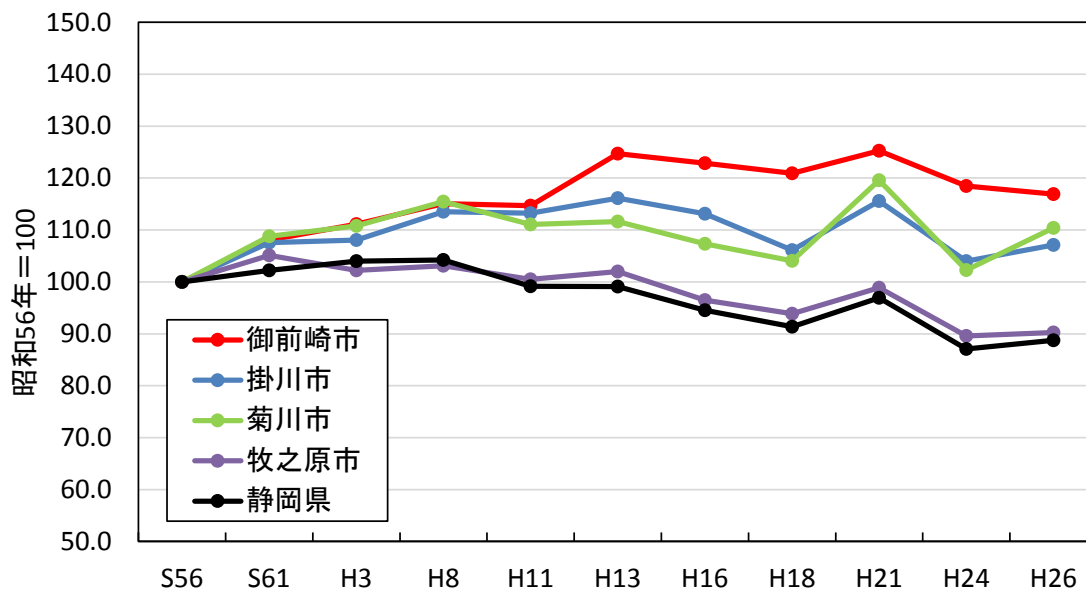
(1) 事業所数の推移

○御前崎市の事業所数は、平成21年まで概ね微増傾向にあったが、近年は減少傾向にある。ただ、県全体や周辺市と比べると、過去約30年間の伸びは大きくなっている。



資料) 企業・事業所統計調査、経済センサス

図 I-9 事業所数の推移 (民間)

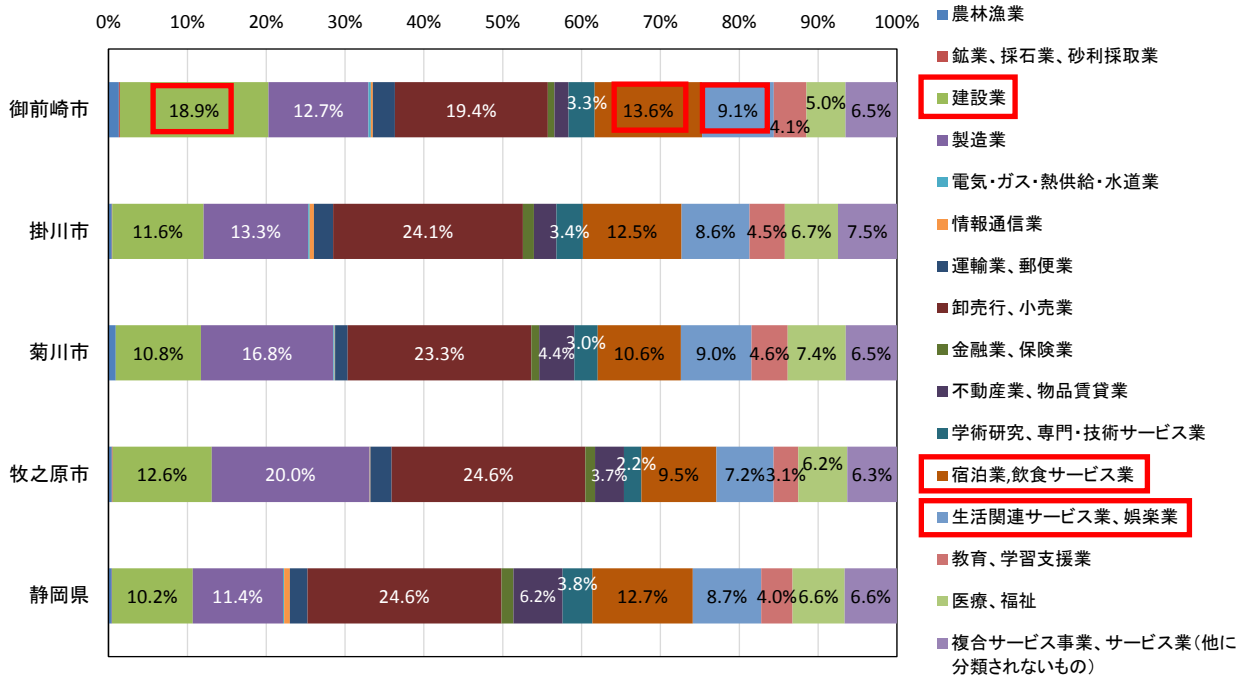


資料) 企業・事業所統計調査、経済センサス

図 I-10 事業所数の推移 (昭和56年を100とした場合)

(2) 産業別事業所数の構成比

○事業所数を産業別にみると、御前崎市は県全体や周辺市に比べ、建設業、宿泊業・飲食サービス業、生活関連サービス業・娯楽業の割合が高い。



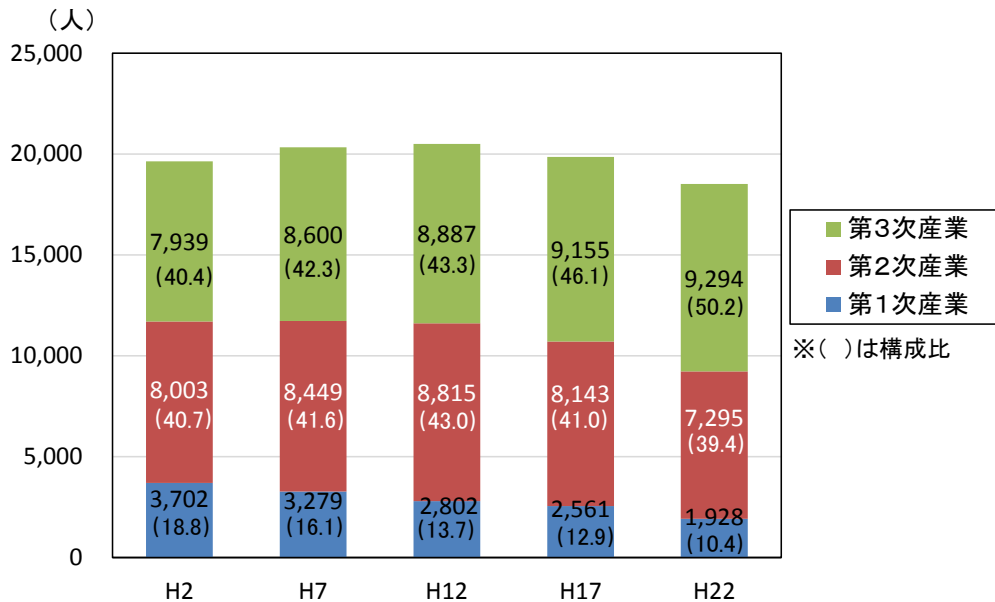
資料) 平成 26 年経済センサス

図 I-11 産業別事業所数の構成比

(3) 産業別就業人口（常住地就業人口）

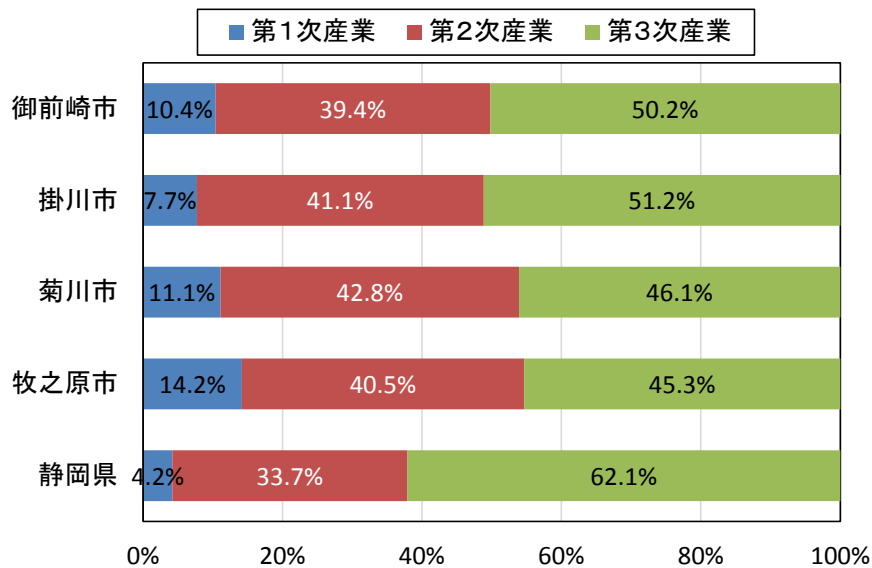
①産業3区分別就業人口

- 近年、御前崎市の就業人口は減少傾向にある。
- 御前崎市の産業3区分別就業人口構成比を県全体と比較すると、周辺市と同様、第1次・第2次産業割合が高い。



資料) 国勢調査

図 I-12 御前崎市の産業3区分別就業人口の推移【常住地就業人口】



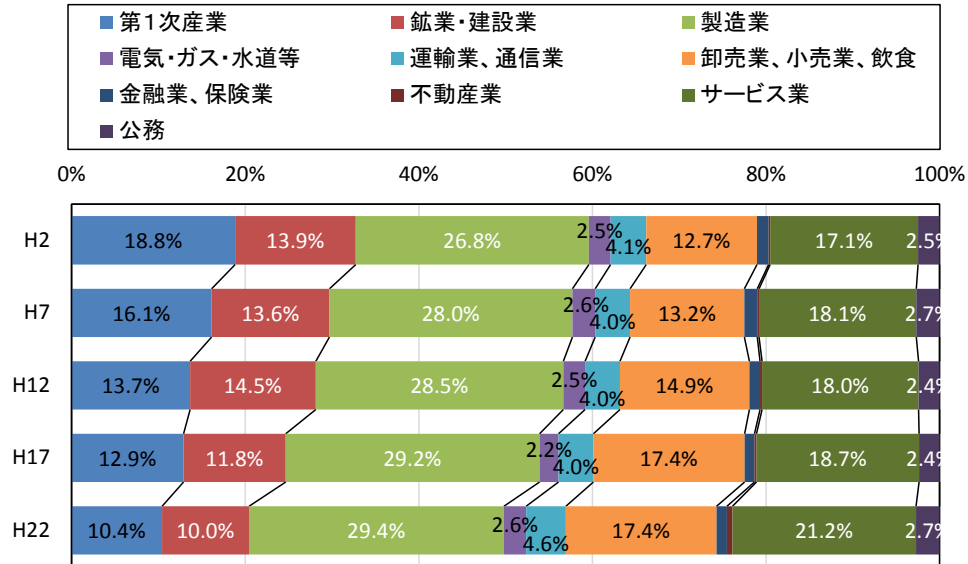
資料) 国勢調査

図 I-13 産業3区分別就業人口の構成比【常住地就業人口】

※常住地とは、各人が常住する（3 ヶ月以上住んでいる、又は3 ヶ月以上にわたって住むことになっている）場所のこと。

②産業大分類別就業人口

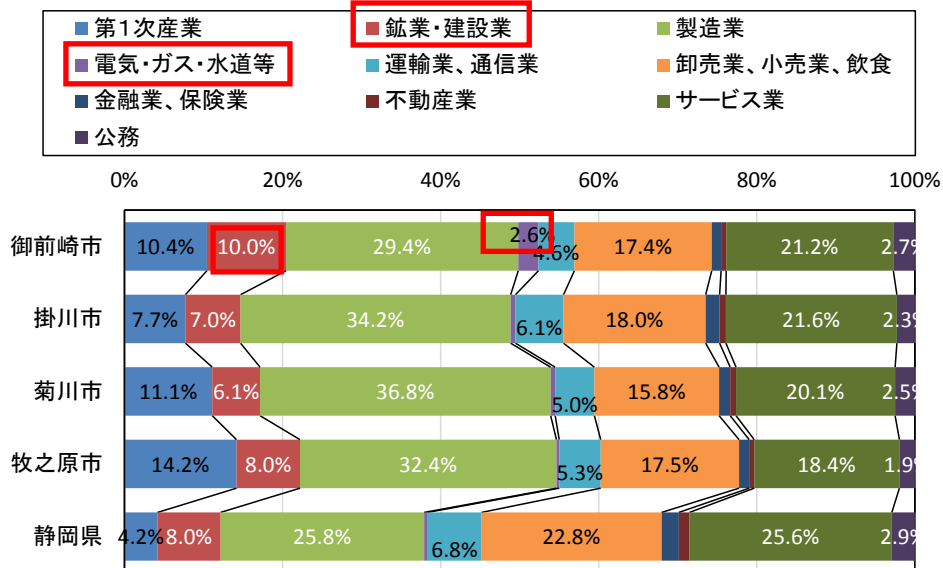
- 御前崎市では、サービス業、卸売業、小売業、飲食の構成比が拡大している。
- 県全体や周辺市と比べると、御前崎市は鉱業・建設業、電気・ガス・水道等の割合が高い。



資料) 国勢調査

注) 集計にあたり、産業分類を一部統合している。

図 I-14 御前崎市の産業大分類別就業人口構成比【常住地就業人口】



資料) 国勢調査

注) 集計にあたり、産業分類を一部統合している。

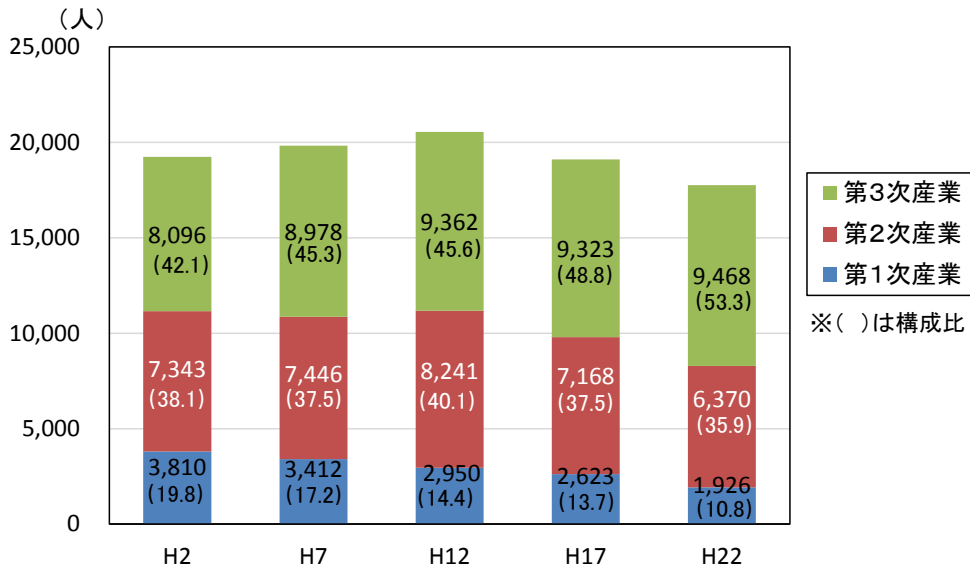
図 I-15 産業大分類別就業人口構成比 (平成 22 年)【常住地就業人口】

※常住地とは、各人が常住する（3 ヶ月以上住んでいる、又は 3 ヶ月以上にわたって住むことになっている）場所のこと。

(4) 産業別従業人口の推移 (従業地就業人口)

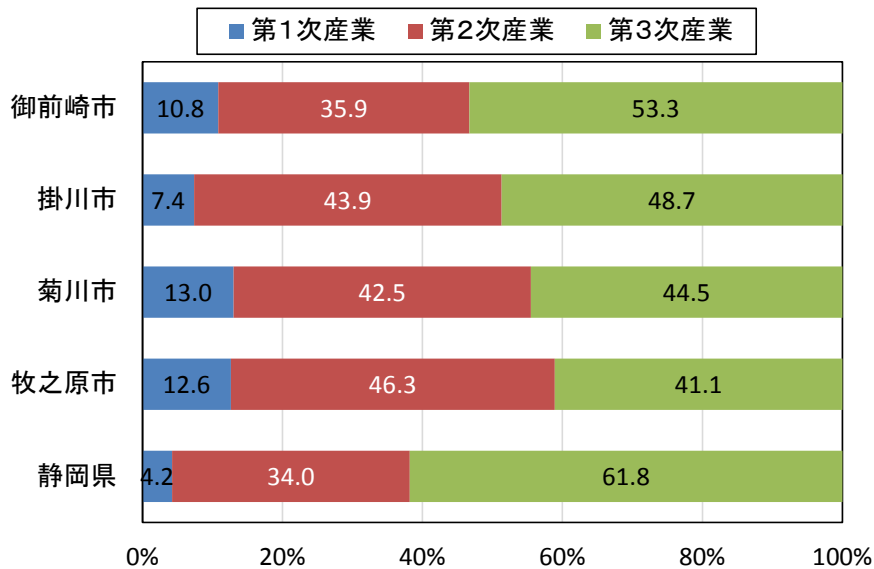
①産業3区分別従業人口

- 近年、御前崎市の従業人口は減少傾向にある。
- 御前崎市の産業3区分別従業人口構成比は、周辺市に比べて第3次産業割合が高い。



資料) 国勢調査

図 I-16 御前崎市の産業別従業人口の推移【従業地就業人口】



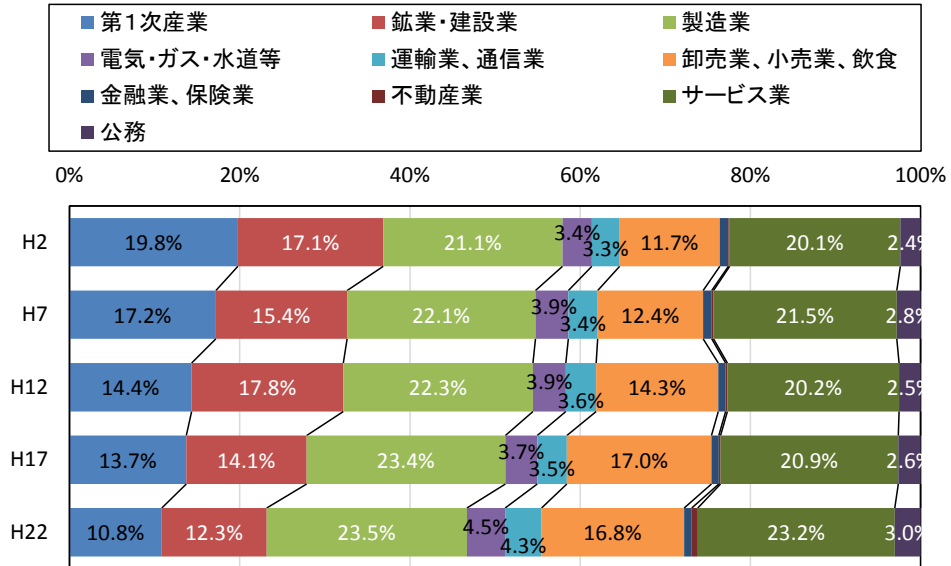
資料) 国勢調査

図 I-17 産業別従業人口の構成比【従業地就業人口】

※従業地とは、就業者が従業している場所のこと。

②産業大分類別従業人口

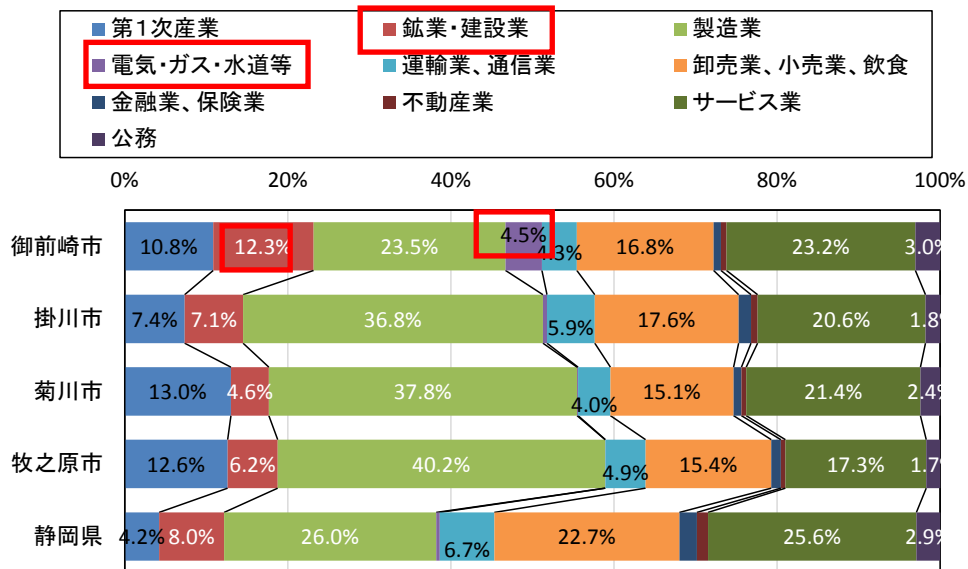
- 御前崎市では、サービス業、卸売業、小売業、飲食の構成比が拡大している。
- 県全体や周辺市と比べると、御前崎市は鉱業・建設業、電気・ガス・水道等の割合が高い。



資料) 国勢調査

注) 集計にあたり、産業分類を一部統合している。

図 I-18 御前崎市の産業別従業人口構成比【従業地就業人口】



資料) 国勢調査

注) 集計にあたり、産業分類を一部統合している。

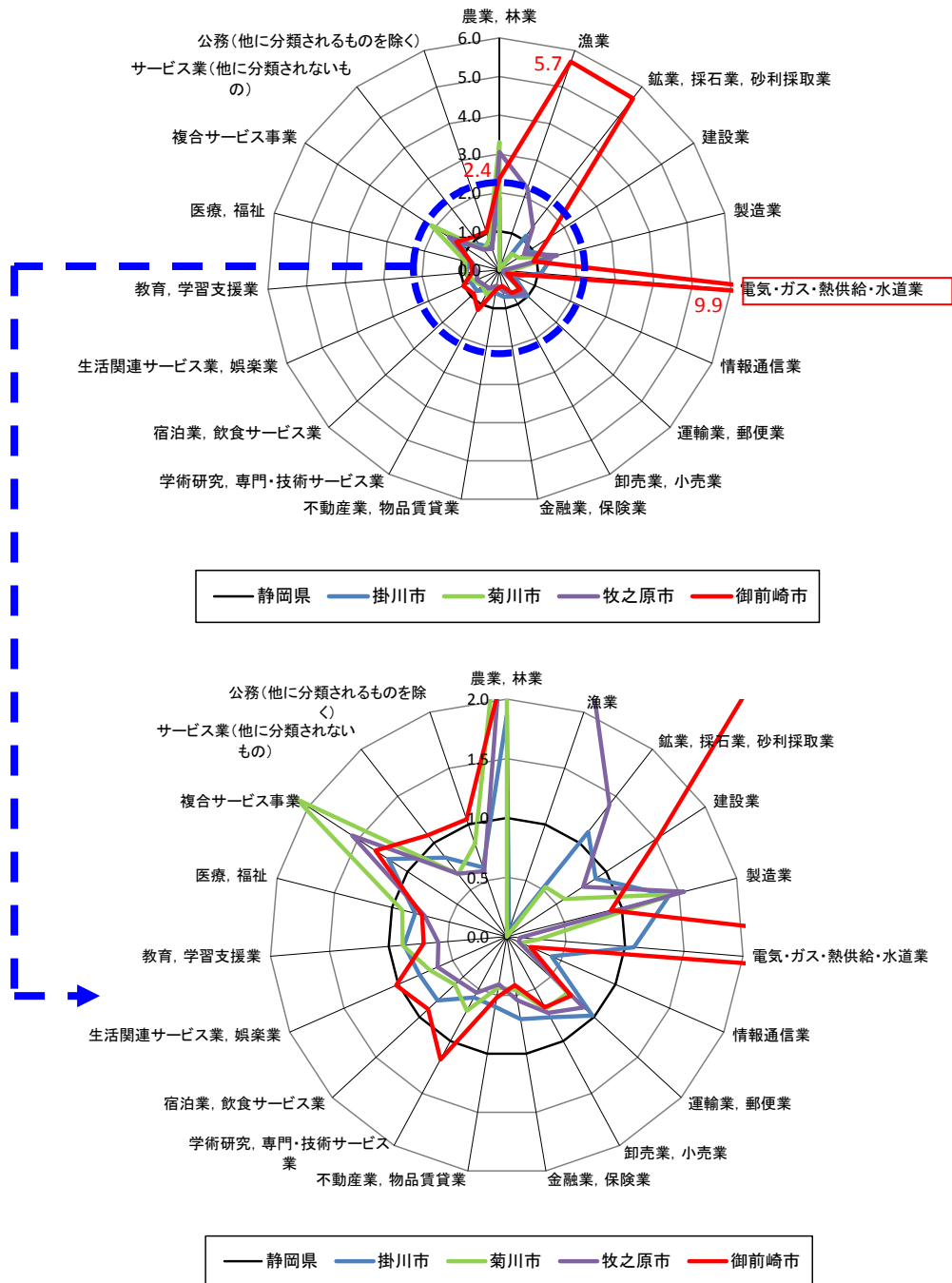
図 I-19 産業別従業人口構成比【従業地就業人口】

※従業地とは、就業者が従業している場所のこと。

(5) 産業特化係数

◆静岡県全体の産業別構成比と比べて、当該地域が特化している産業を把握した。
 ○御前崎市は、電気・ガス・熱供給・水道業が突出している。
 ○一方、情報通信業や金融業・保険業などは低くなっている。

※産業特化係数＝市別産業別従業人口構成比÷静岡県全体の産業別従業人口構成比
 (静岡県全体と同じ構成比の場合は 1.0 となる。)



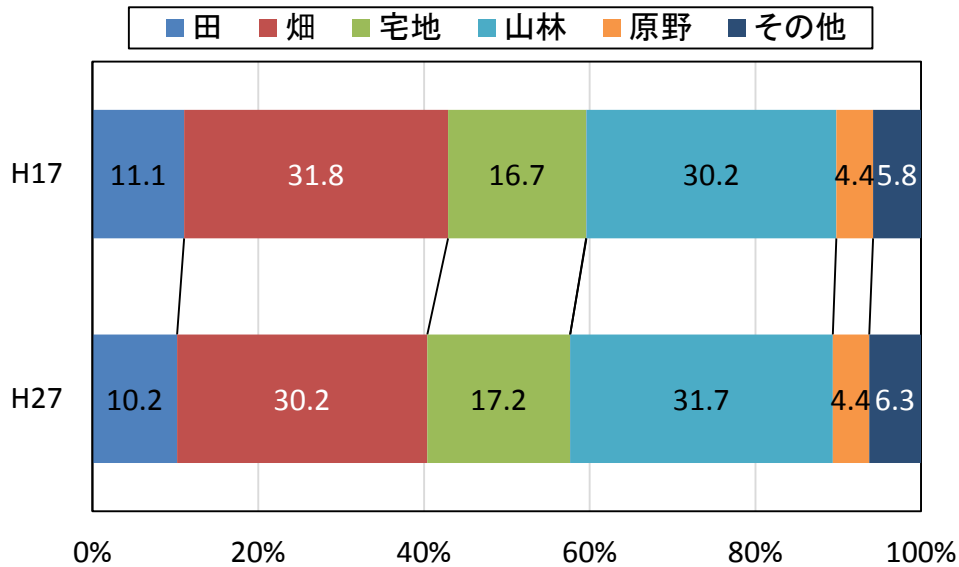
資料) 国勢調査

図 I-20 御前崎市と隣接市の産業特化係数

2. 土地利用、施設立地状況

2-1 地目別面積及び構成比

○過去10年間に於いて、田、畑の割合が低下し、宅地、山林の割合が上昇している。



資料) 固定資産に関する概要調書(平成 27 年度 静岡県)

図 I-21 御前崎市の土地利用構成 (平成 27 年と平成 17 年)

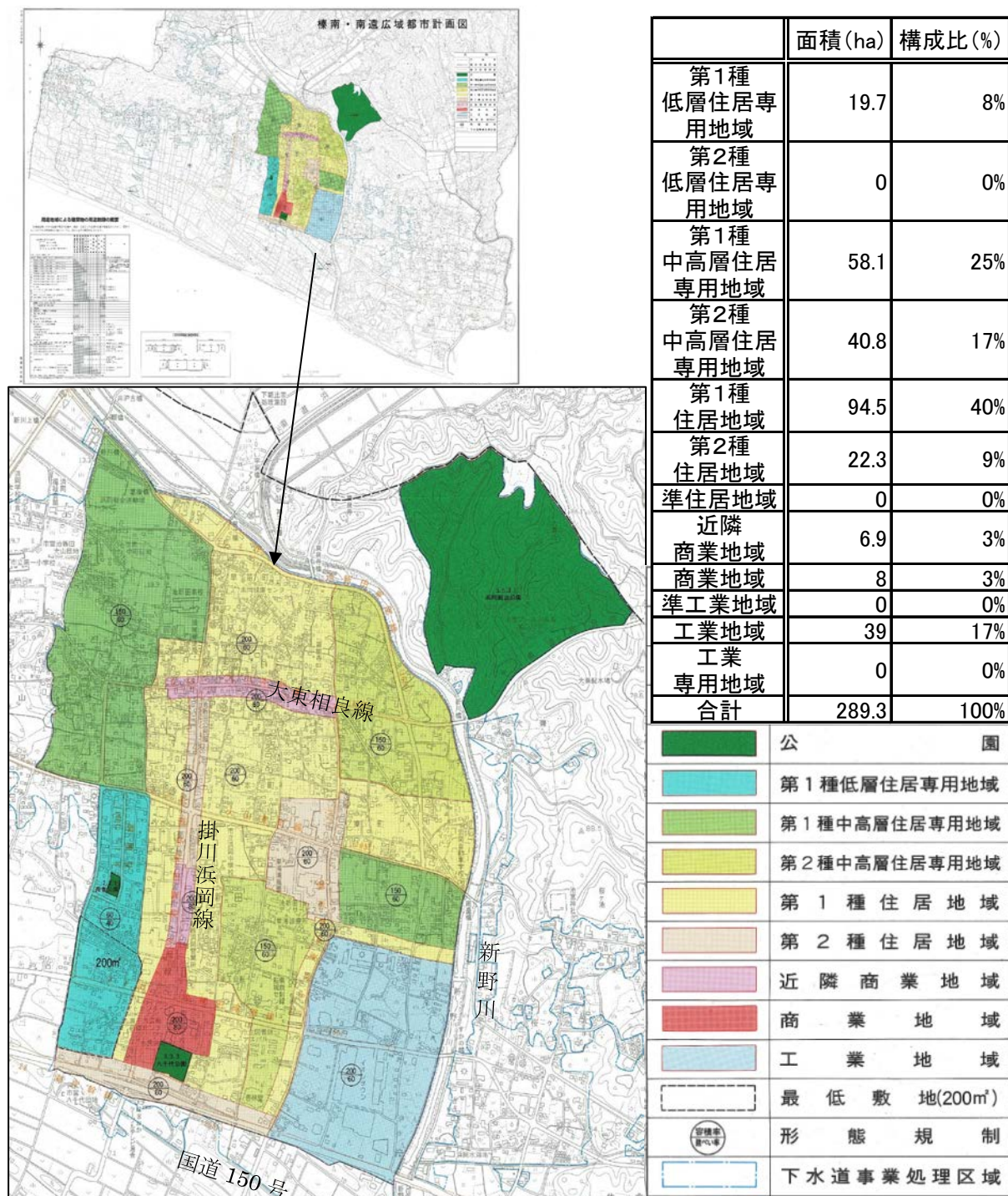
表 I-2 御前崎市の土地利用構成

H17	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	その他	合計
面積(ha)	551	1,585	830	2	1,500	221	288	4,976
構成比(%)	11.1	31.8	16.7	0.0	30.2	4.4	5.8	100.0
H27	田	畑	宅地	池沼	山林	原野	その他	合計
面積(ha)	507	1,501	855	1	1,573	218	312	4,968
構成比(%)	10.2	30.2	17.2	0.0	31.7	4.4	6.3	100.0

資料) 固定資産に関する概要調書 (平成 27 年度 静岡県)

2-2 都市計画用途指定状況

- 御前崎市では、市中心部の池新田地区において用途地域が指定されている。
- 県道掛川浜岡線および県道大東相良線沿道に商業系用途が指定されている。
- 国道150号沿道に工業地域が指定されているが、現状は大規模商業施設が集積している。



資料) 御前崎市都市計画図、「静岡県都市計画(資料編)」

図 I-22 用途地域指定状況

2-3 主要施設立地状況

① 商業施設

○スーパー・コンビニは国道150号沿道を中心に立地している。

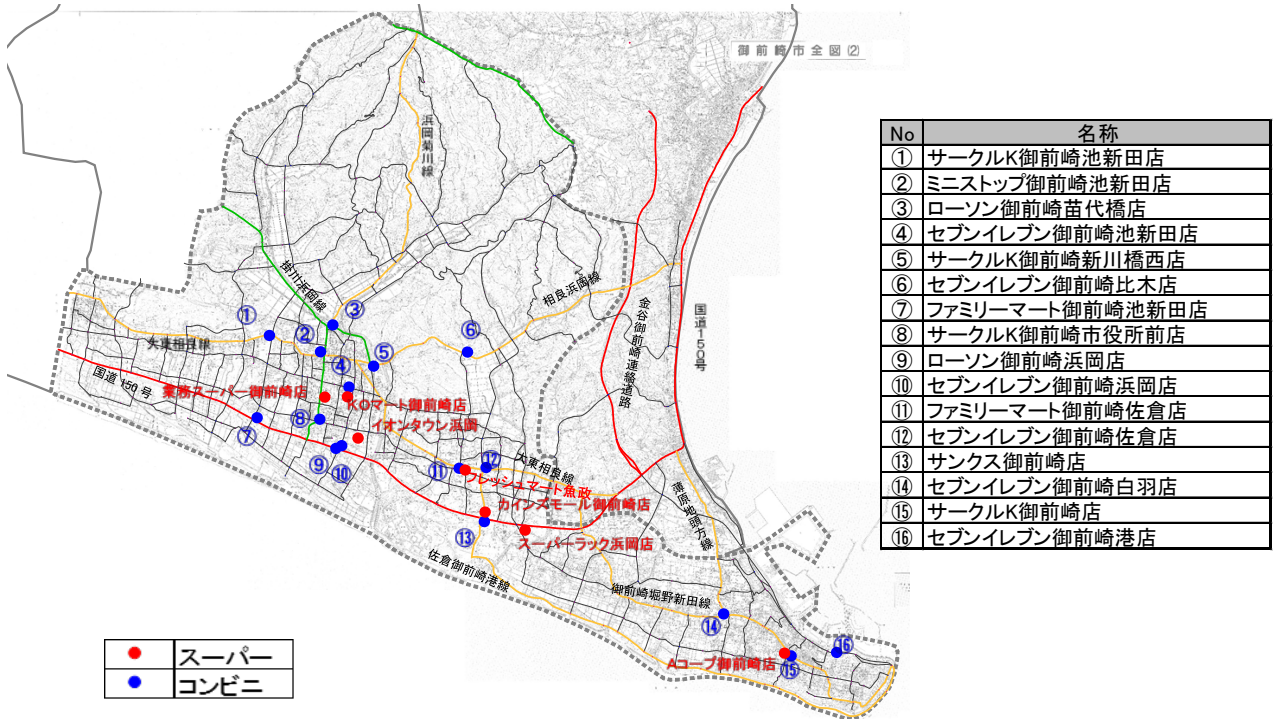
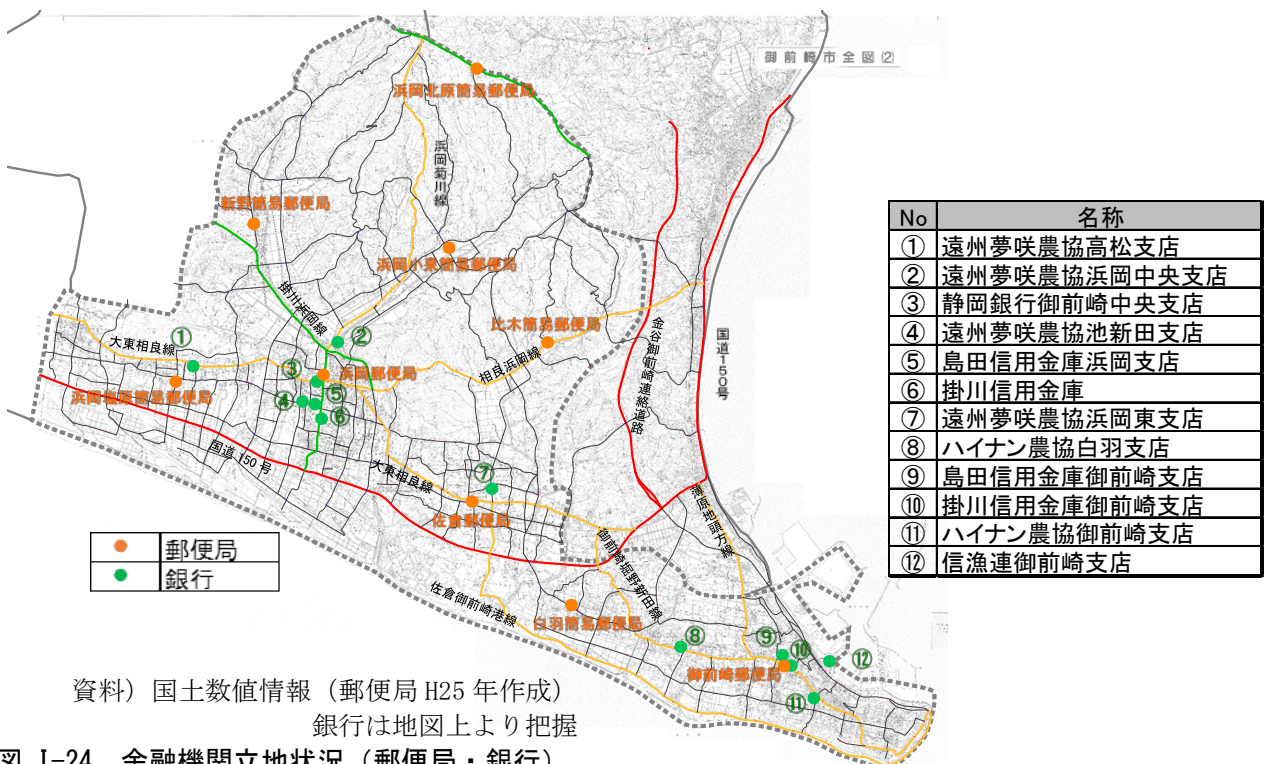


図 I-23 商業施設立地状況（スーパー・コンビニ）

資料) 地図上より把握

② 金融機関

○金融機関は主に市中心部の池新田地区や御前崎地区、郵便局は市内各地区に立地している。



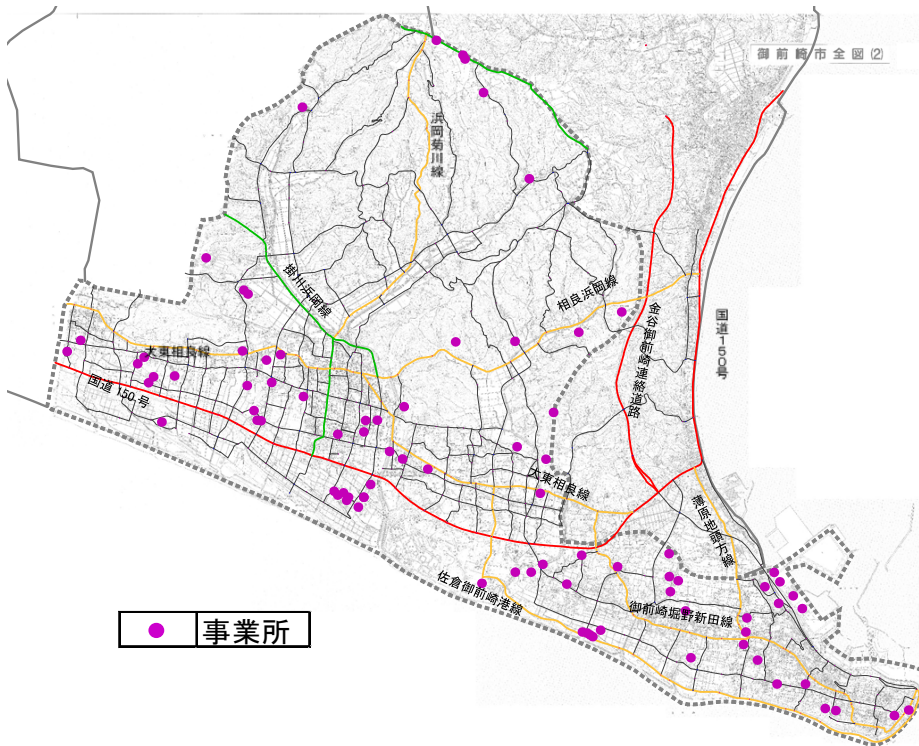
資料) 国土数値情報（郵便局 H25 年作成）

銀行は地図上より把握

図 I-24 金融機関立地状況（郵便局・銀行）

③工業系の事業所

○池新田地区と御前崎港に工業地域があるほか、市内各地に事業所が立地している。

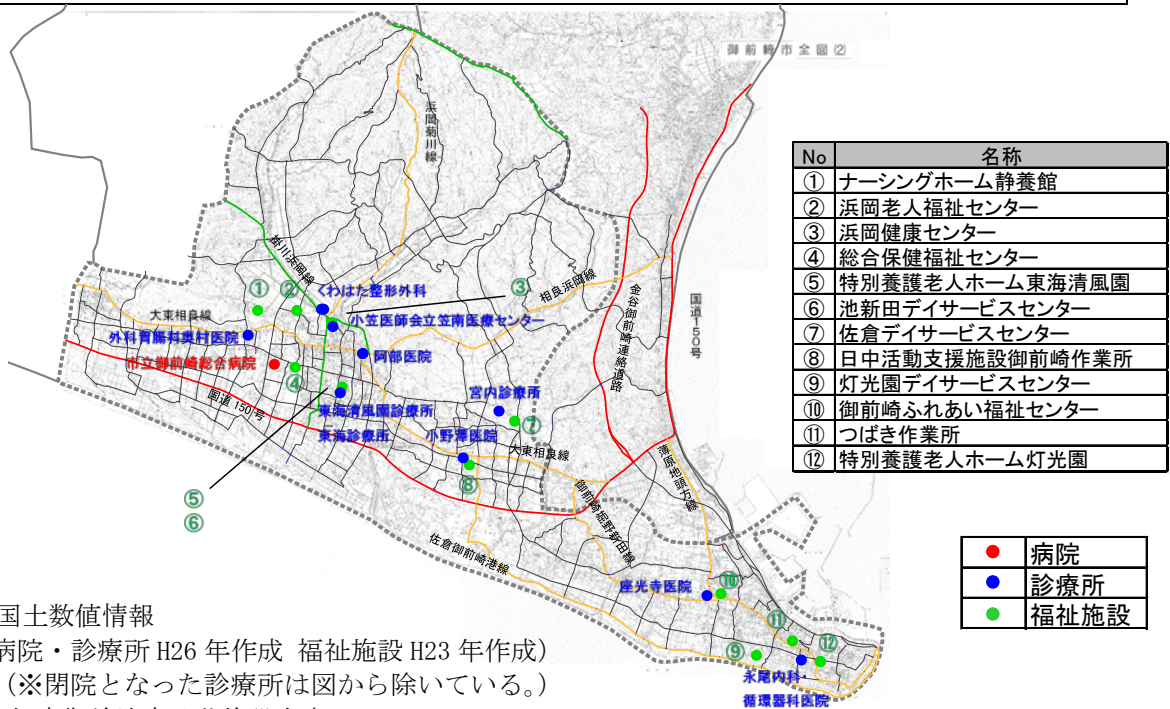


● 事業所

図 I-25 工業系事業所立地状況 資料)「御前崎市内企業地図」(御前崎市)

④医療・福祉施設

○第二次救急医療を担う市立御前崎総合病院、その他、各地区に診療所が立地している。
○介護等の福祉施設は、池新田地区や御前崎地区、佐倉地区などに立地している。

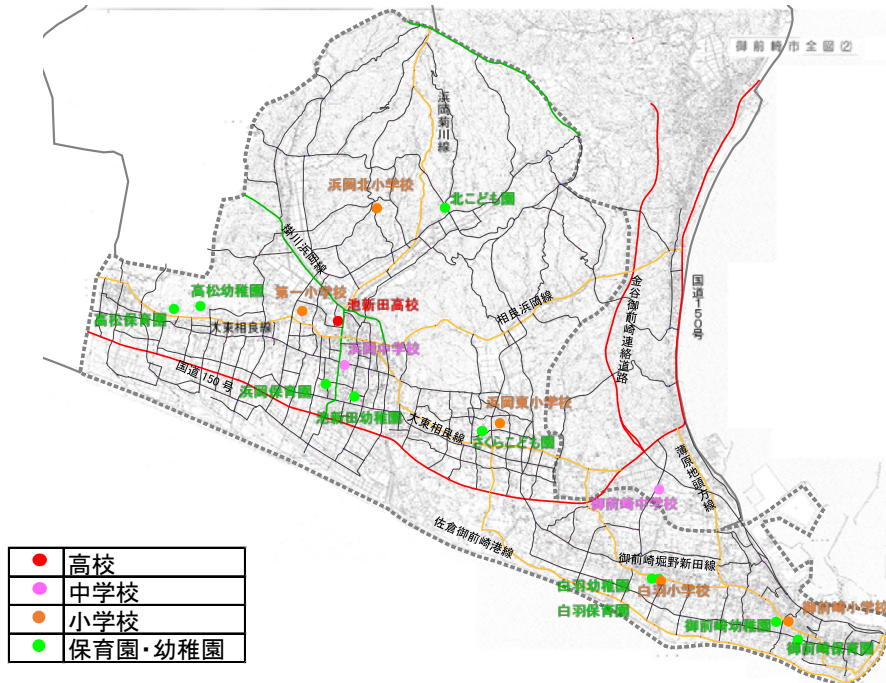


資料) 国土数値情報
(病院・診療所 H26 年作成 福祉施設 H23 年作成)
(※閉院となった診療所は図から除いている。)
平成 27 年度御前崎市公共施設白書

図 I-26 医療・福祉施設立地状況

⑤教育・子育て施設

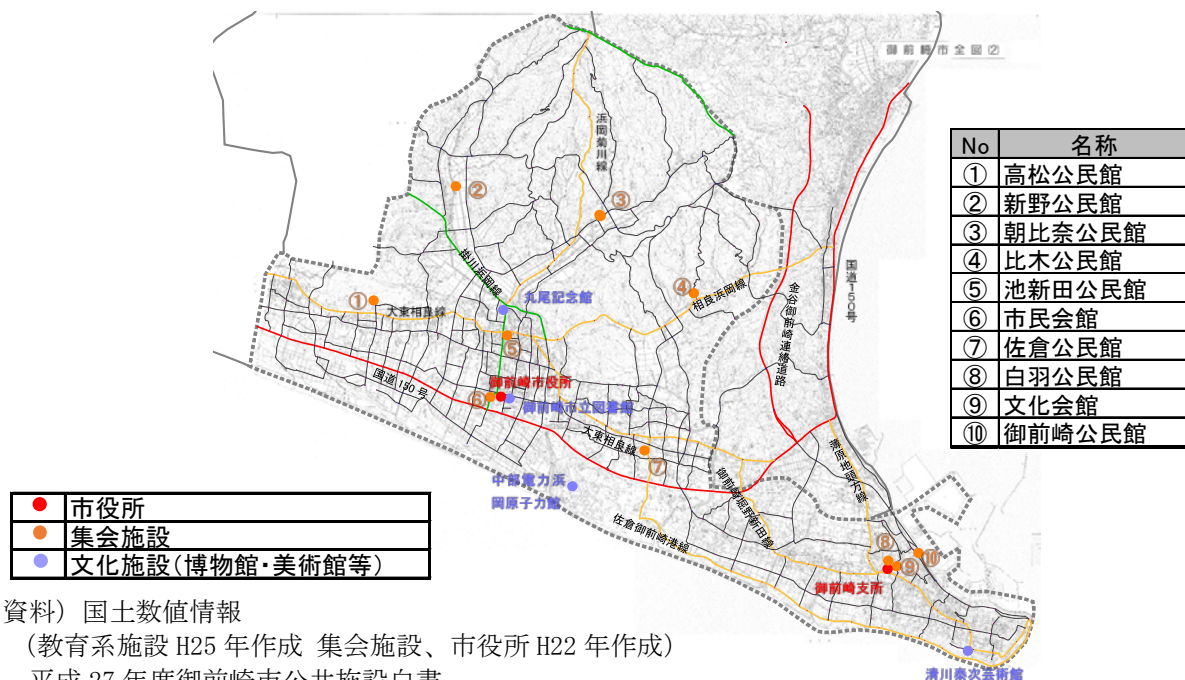
- 市中心部の池新田地区に池新田高校、浜岡中学校が立地、御前崎中学校（組合立）は隣接する牧之原市域に立地している。
- 幼稚園・保育園は、市街地・集落地域に広く分散して立地している。



資料) 国土数値情報(学校 H26 年作成 子育て施設 H23 年作成)、平成 27 年度御前崎市公共施設白書
 図 I-27 教育・子育て施設立地状況

⑥公共・公益施設

- 市役所は池新田地区に、御前崎支所は御前崎地区に立地している。
- 文化施設や集会施設は、池新田地区や御前崎地区をはじめ、市内各地区に立地している。



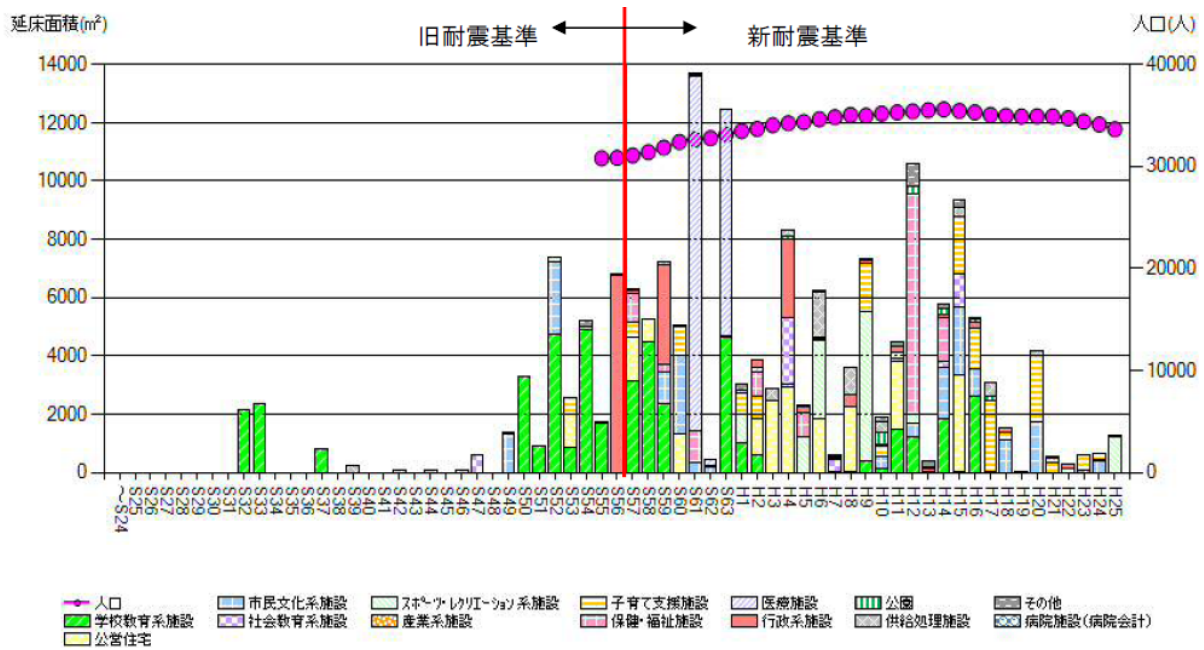
資料) 国土数値情報
 (教育系施設 H25 年作成 集会施設、市役所 H22 年作成)
 平成 27 年度御前崎市公共施設白書

図 I-28 公共・公益施設立地状況

⑦公共施設の建築年次（公共施設白書より）

○築30年以上の公共施設は、現在では約3割、10年後には6割以上になると見込まれる。

- ・人口増と原発立地に伴う税金・交付金等の増加により、昭和50年代以降に多くの施設が整備
- ・特に、小中学校の建て替えが昭和50年頃から昭和63年頃に集中
- ・築30年以上の施設は、全体の約27%（平成26年時点）。10年後には約61%が築30年以上



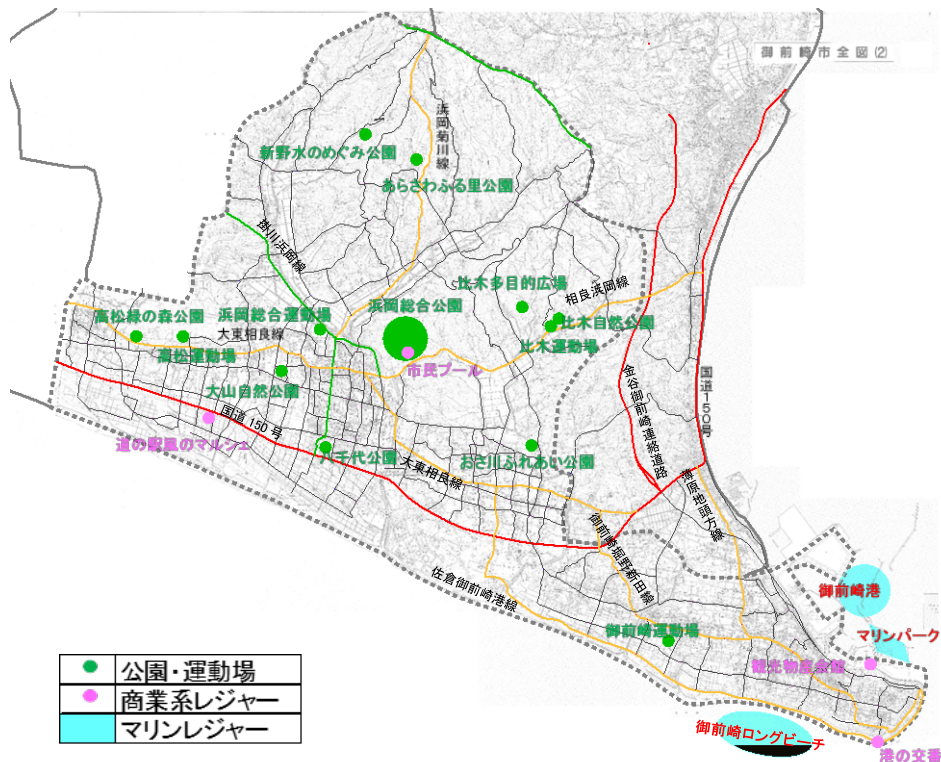
資料) 御前崎市公共施設白書 (H26.9、御前崎市)

図 I-29 公共施設の築年別延床面積

2-4 観光・レジャースポットの分布状況

(1) 市内の観光・レジャースポットと道路網の関係

- 主に市民の利用に供する公園・運動場は浜岡地区に多く存在している。
- マリンレジャー関連の施設・スポットは御前崎地区に存在している。

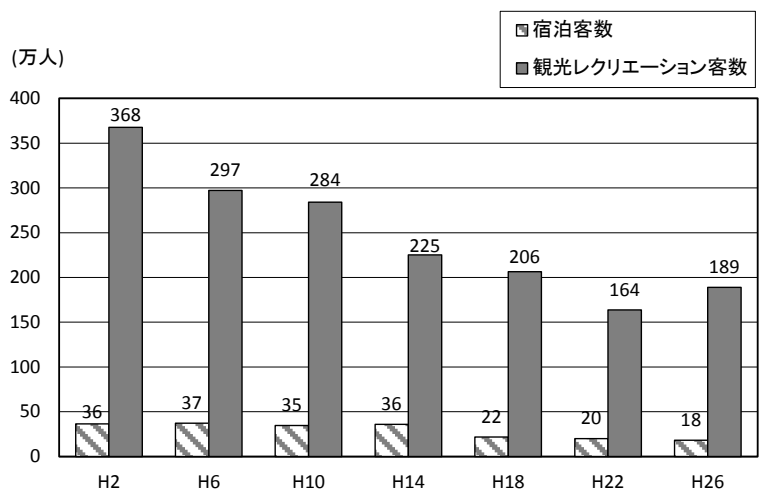


資料) 国土数値情報 (公園 H23 年作成)、御前崎市 HP、平成 27 年度御前崎市公共施設白書
 ※公園は、面積が 1ha 以上のみを図示している。

図 I-30 市内の観光・レジャースポット

(2) 観光交流客数の推移

- 御前崎市へ来訪する観光・レクリエーション客数は、減少傾向にある。
- 宿泊客数は、平成 14 年以降大きく減少した。



資料) 静岡県観光交流の動向 (平成 2~26 年度) ※H14 年までは浜岡町、御前崎町合計

図 I-31 観光交流客数の推移

3. 交通基盤状況、交通特性

3-1 交通基盤

(1) 交通基盤

1) 道路網

○御前崎市には、市の東西方向を貫く国道 150 号、掛川市を結ぶ掛川浜岡線、菊川市を結ぶ浜岡菊川線をはじめ、主要地方道、一般県道により市の骨格が形成され、これらを相互連絡、補間する 1,2 級市道が配置されている。

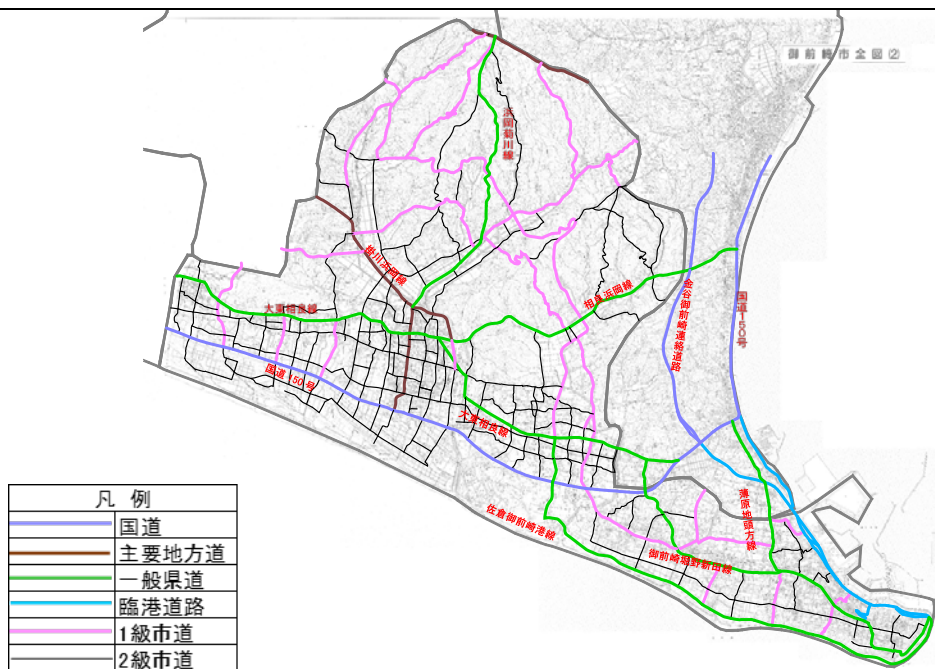


図 I-32 主要道路網

資料) 御前崎市資料

2) 車線数

○国道 150 号が市内唯一の 4 車線道路（塩原新田～牛飼交差点）で、国道 150 号のその他の区間や県道、一部市道は 2 車線である。なお、1,2 級市道でも 1 車線が多く存在している。

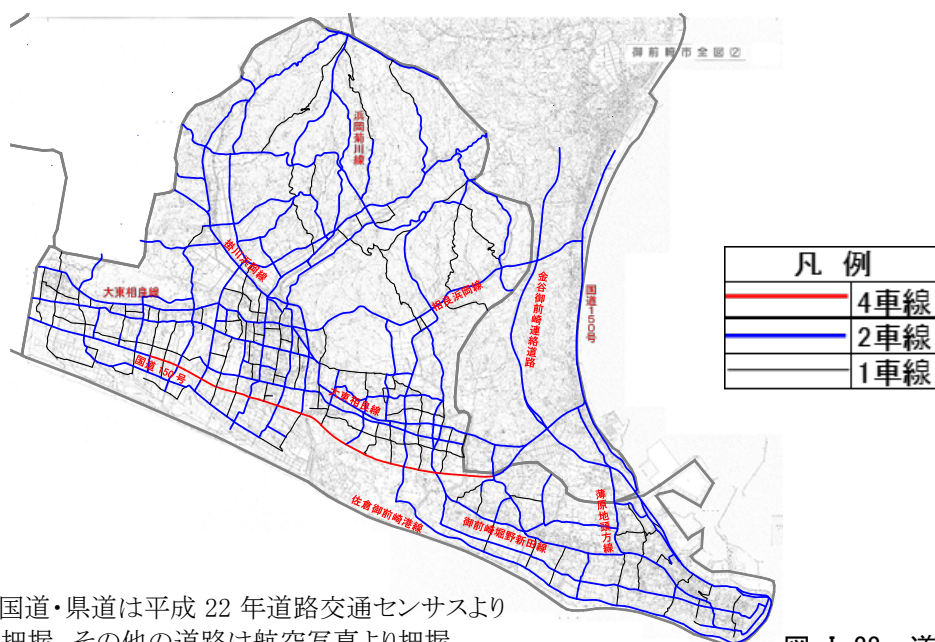


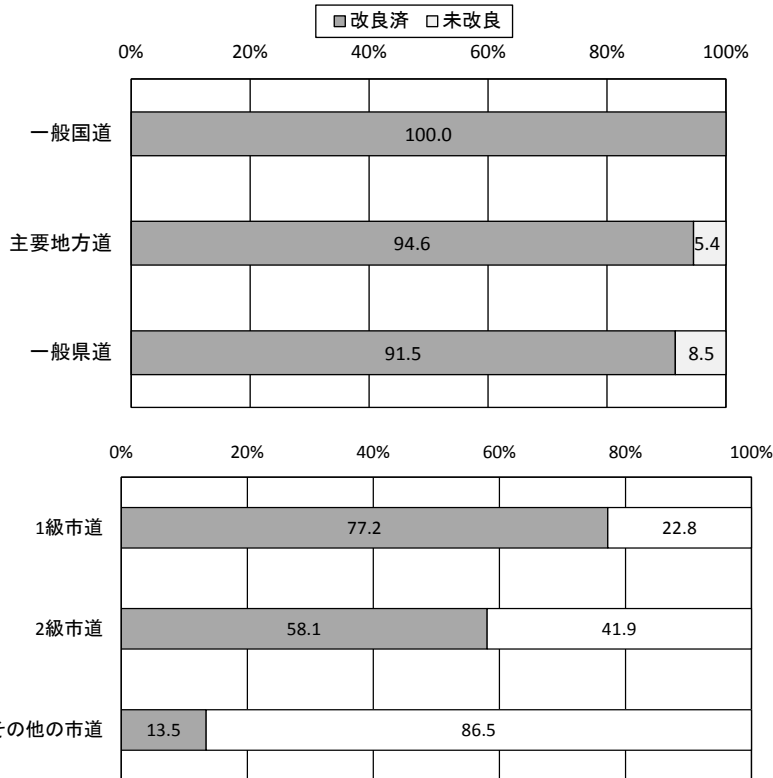
図 I-33 道路の車線数

資料) 国道・県道は平成 22 年道路交通センサスより把握。その他の道路は航空写真より把握
 ※市道は道路幅員 5.5m 以上を 2 車線、5.5m 未満を 1 車線とみなした。

(2) 道路整備状況

1) 道路の整備状況

- 一般国道、主要地方道、一般県道は概ね改良済となっている。
 ○1級市道の改良率は77.2%、2級市道の改良率は58.1%である。
 注) 改良済とは、道路構造令の規格に適合するものをいう。



資料) 静岡県道路現況調書 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

図 I-34 御前崎市内県管理道路の車道幅員 5.5m以上改良率

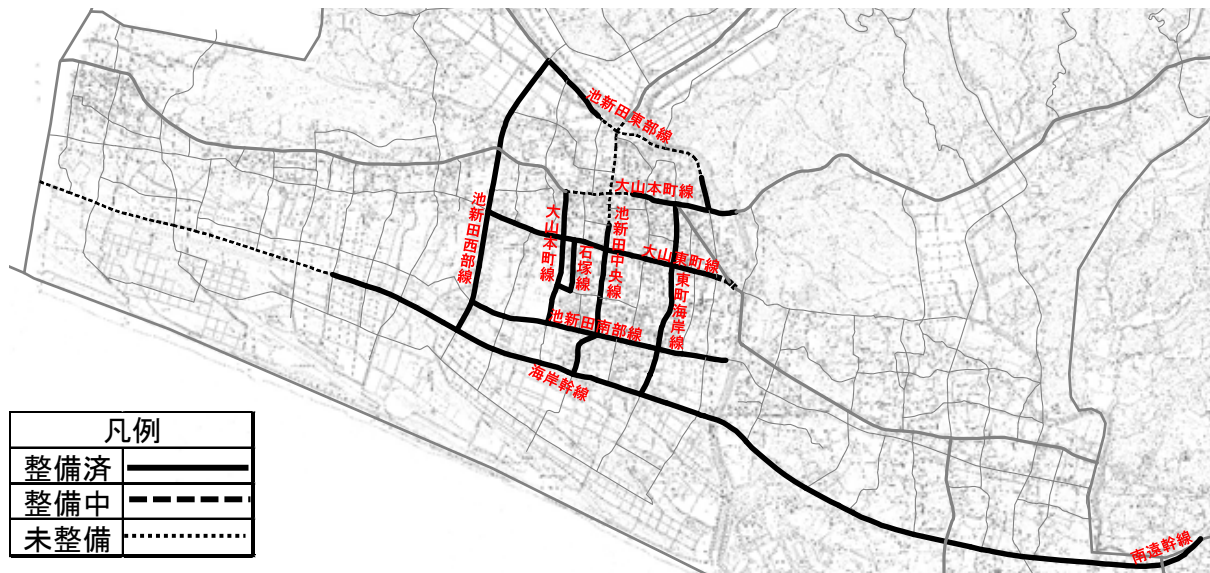
表 I-3 県管理道路・市管理道路の整備状況

道路種別	路線名	新・旧	実延長 (m)	規格改良済		車道幅員 5.5m以上改良済	橋梁		トンネル	
				延長(m)	改良率(%)		改良率(%)	箇所数	延長(m)	箇所数
一般国道	150号		9,788	9,788	100.0	100.0	170	4,850	1	784
	小計(1路線)		9,788	9,788	100.0	100.0	170	4,850	1	784
主要地方道	掛川浜岡線		4,860	4,860	100.0	94.8	31	528	1	85
		旧道	74	74	100.0	-	0	0	0	0
		新道	1,076	1,076	100.0	100.0	5	49	0	0
	小計(1路線)		6,010	6,010	100.0	94.6	36	577	1	85
一般県道	相良浜岡線		5,116	5,116	100.0	99.5	6	172	0	0
		旧道	107	57	53.2	-	0	0	0	0
	御前崎堀野新田線		7,173	7,173	100.0	100.0	2	22	0	0
	薄原地頭方線		1,024	1,024	100.0	64.8	0	0	0	0
	浜岡菊川線		5,848	5,848	100.0	100.0	5	135	0	0
	佐倉御前崎港線		9,809	9,809	100.0	100.0	7	88	0	0
	大東相良線		9,534	9,419	98.8	60.0	10	305	0	0
	小計(6路線)		38,611	38,446	99.6	88.8	30	722	0	0
	合計(8路線)		54,409	54,244	99.7	91.5	236	6,149	2	869
路線名	路線数	実延長 (m)	規格改良済		車道幅員5.5m以上改良済		橋梁		トンネル	
			延長(m)	改良率(%)	延長(m)	改良率(%)	箇所数	延長(m)	箇所数	延長(m)
1級市道	25	49,756	49,278	99.0	38,412	77.2	43	440	1	94
2級市道	71	83,741	82,074	98.0	48,614	58.1	48	552	2	101
その他	1,498	420,651	355,325	84.5	56,774	13.5	172	1,303	0	0
小計	1,594	554,148	486,677	87.8	143,800	25.9	263	2,295	3	195

資料) 静岡県道路現況調書 (平成 27 年 4 月 1 日現在)

2) 都市計画道路の整備状況

- 都市計画道路の改良率は市全体で72.3%である。
- 池新田東部線および池新田中央線（(県)掛川浜岡線）の改良率が低い。



資料) 静岡県の都市計画 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

図 I-35 御前崎市内都市計画道路

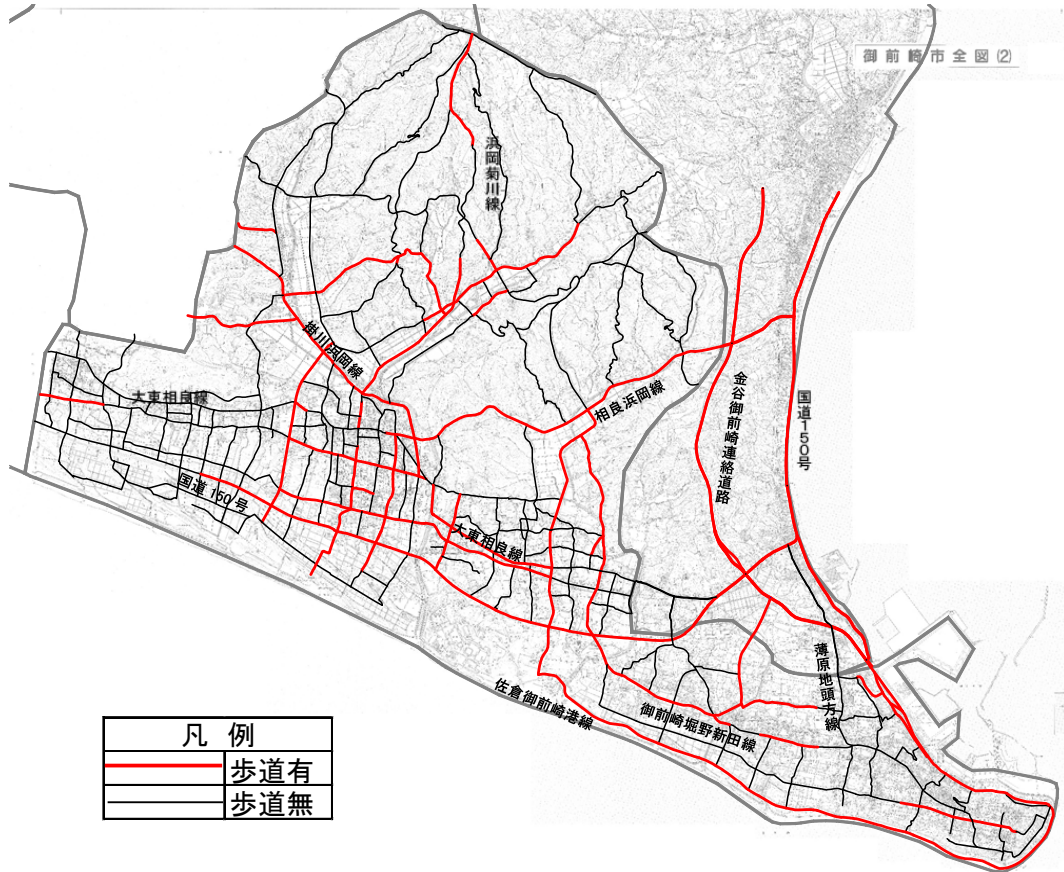
表 I-4 都市計画道路の改良率

番号	名称 路線名	計画決定(m)		改良済(m)		改良率(%)	
		市全域	用途地域内	市全域	用途地域内	市全域	用途地域内
3.3.16	南遠幹線	800	0	800	0	100.0	-
3.3.28	海岸幹線	9,040	1,340	6,510	1,340	72.0	100.0
3.4.29	池新田東部線	1,860	1,640	380	270	20.4	16.5
3.4.30	池新田中央線	1,990	1,990	490	490	24.6	24.6
3.4.31	池新田西部線	2,290	0	2,290	0	100.0	-
3.4.32	大山東町線	2,020	1,670	1,910	1,560	94.6	93.4
3.4.33	池新田南部線	1,270	1,270	1,270	1,270	100.0	100.0
3.4.34	大山本町線	2,320	2,320	1,490	1,490	64.2	64.2
3.4.35	東町海岸線	1,520	1,520	1,431	1,431	94.1	94.1
7.6.1	石塚線	500	500	500	500	100.0	100.0
10路線		23,610	12,250	17,071	8,351	72.3	68.2

資料) 静岡県の都市計画 (平成 27 年 3 月 31 日現在)

(3) 歩道の設置状況

○幹線道路を中心に歩道の設置がみられるが、国道150号の一部区間や県道においても歩道が設置されていない区間が残っている。



資料) 国道・県道：平成22年道路交通センサス

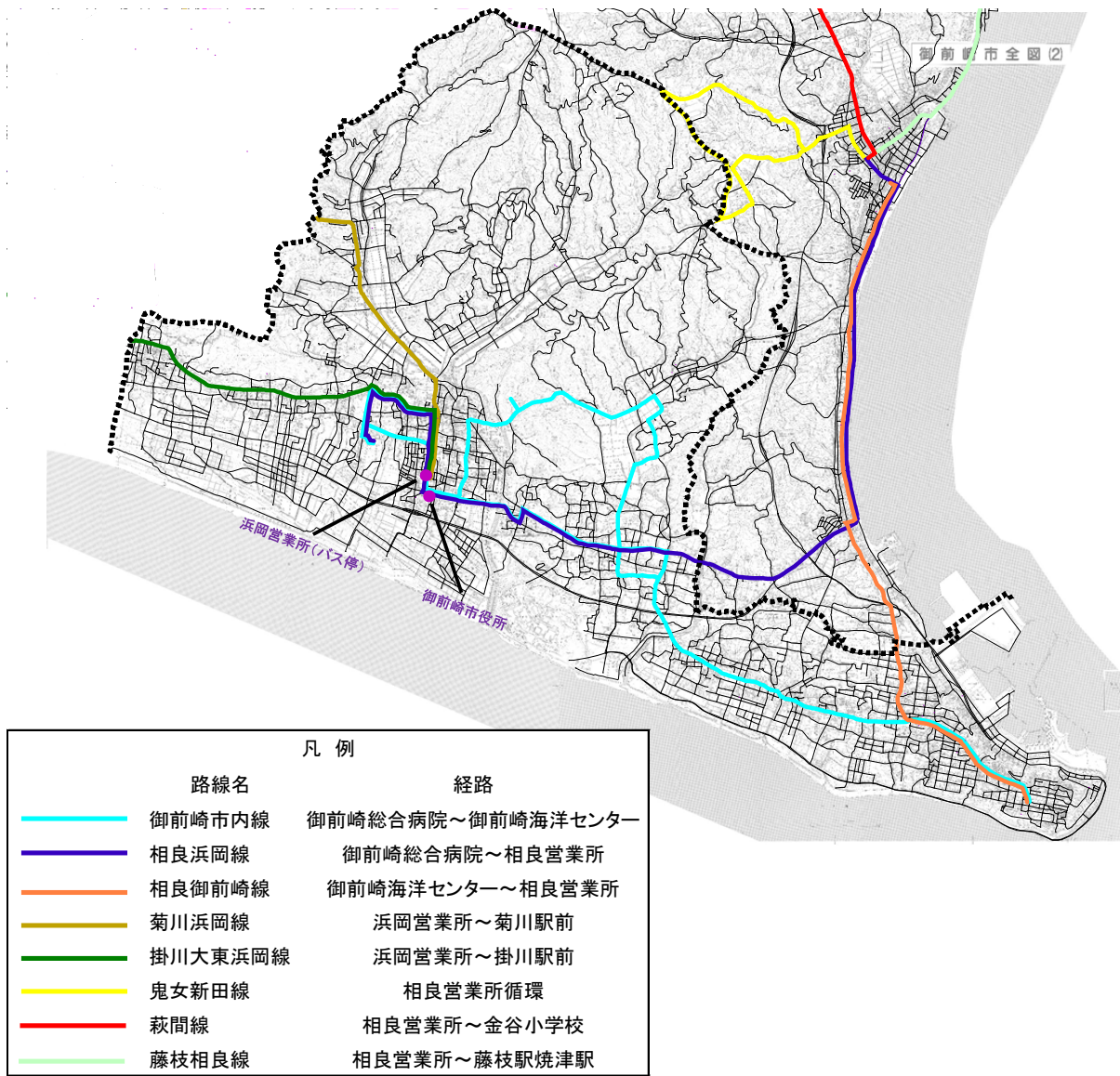
市道：航空写真、Google ストリートビューを基に把握

図 I-36 歩道の設置状況

(4) 公共交通網 (バス路線)

1) バス路線

- 御前崎市池新田地区から掛川駅、菊川駅へ連絡する路線バスが設定されている。
- その他、御前崎市内相互の連絡、御前崎市と牧之原市旧相良町を結ぶ自主運行バスが設定されている。
- バス路線はすべて補助により運行されている。

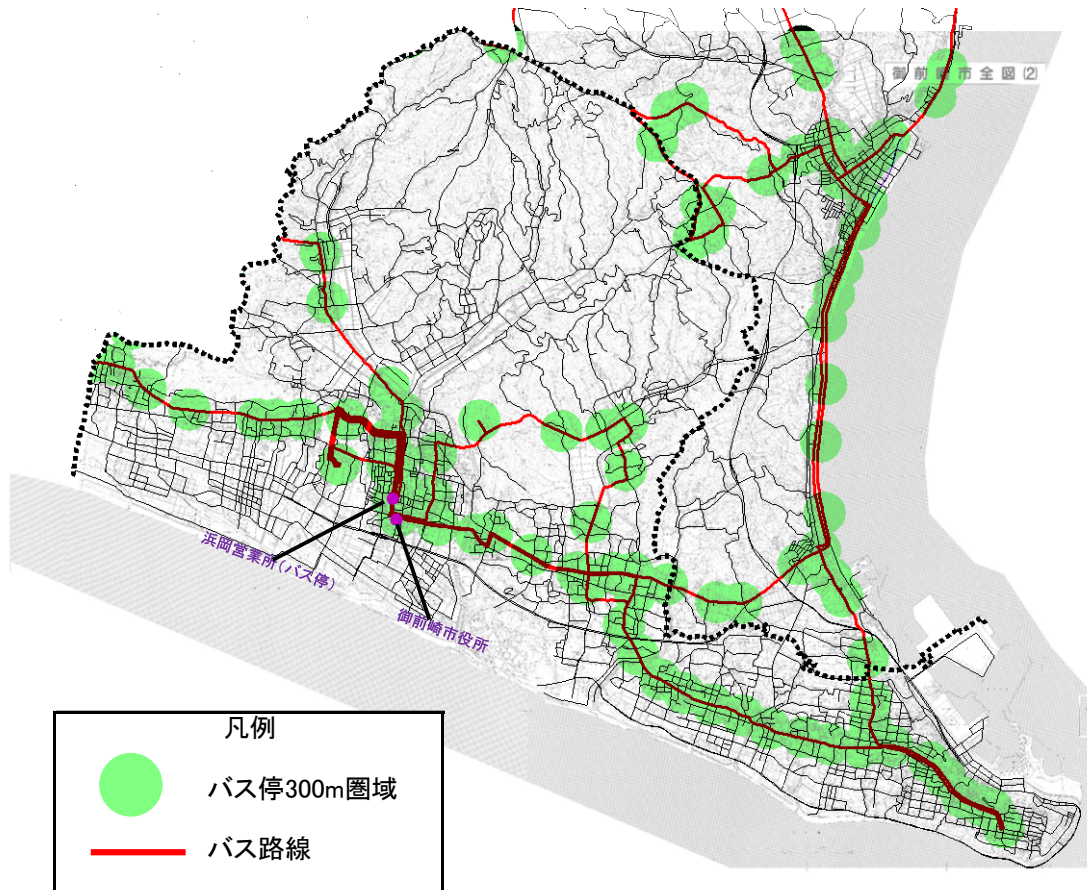


資料) 御前崎市 HP、しずてつジャストライン株式会社 HP

図 I-37 御前崎市バス路線図

2) バス停 300m 圏域

○バス停からおおむね 5 分以内の到達に相当する 300m圏域の広がりを見ると、市街地、集落においても 300mから外れる地域が多くみられる。



資料) 御前崎市 HP、しずてつジャストライン株式会社 HP
図 I-38 バス停 300m圏域図